



Shikoku  
Cancer Center News  
No.53

# 四国がんセンター ニュース



日本医療機能評価機構  
認定第JC1324号

2015  
**10**  
OCTOBER

**基本理念** 患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



◎田深山溪谷 内子町 撮影:俊野 健治

## 前立腺がんの今昔～ロボット支援手術までの道のり～

この度4月1日付で第一病棟部長に就任致しました。私は1993年4月から当四国がんセンターで泌尿器科の診療を行っています。泌尿器科での重要課題は急増する前立腺がんです。国立がん研究センターの2015年がん統計予測では、男性がんの中で前立腺がんは罹患率トップになるとされています。生涯で前立腺がんになる確率は10%、10人に一人が前立腺がんになる時代なのです。前立腺がんが増している理由には2つあります。社会の高齢化と食生活の欧米化です。さらに現在では一般的になってきた前立腺がん検診の普及もあげられます。当院に赴任してきた頃愛媛県ではまだ前立腺がん検診はありませんでした。そこで当院では1993年から前立腺がん検診を始めました。西条市から始まり、川内町や重信町など計6市町村へと拡大していきました。初めてのことはかりで各地域の保健師さんなどにお世話になりながらすすめていきました。その甲斐あって現在では愛媛県下どの市町村でも前立腺がん検診を受けることができます。

前立腺がんの治療も大きな変貌を遂げ、手術に

関しては開腹手術から腹腔鏡手術、さらにはロボット支援手術へと移行しています。腹腔鏡手術の歴史はまだ浅く、日本では1990年の腹腔鏡下胆嚢摘出術が初めての手術です。その後腹腔鏡は泌尿器分野でも急速に広まり、2000年には前立腺手術も開始されました。当初腹腔鏡下前立腺全摘除術は難易度の高い手術でしたが、2006年に保険適応となり一般化されるまでになりました。腹腔鏡の進化はさらに続き、ロボット支援手術の登場になります。現在ロボット支援手術が保険適応となっているのは前立腺全摘除術のみです。このことはこれまでの泌尿器科での腹腔鏡手術発展の成果だといえるでしょう。当科ではこれまでに1000例以上の前立腺全摘除術を行っており、腹腔鏡手術はもとよりロボット支援手術も安全に行うことが可能です。

さて私は1963年生まれですが、この年愛媛では第1回愛媛マラソンが開催されました。始まった頃愛媛マラソンは競技色が強く、制限時間も4時間以内だったため参加者も700人規模の小さな大会でした。2010年の第48回大会より、市民マラソン

に生まれ変わり、現在では10000人規模の大会になりました。愛媛マラソンは全国マラソン100選で常にトップクラスに選ばれるほど人気が高く、2014年の第52回大会からは抽選制になりました。2015年は運良く当選し、初めて愛媛マラソンを走ることができました。厚生労働省が「健康づくりのための運動指針2013」を発表しているように、運動は多くのがんで発がんリスクを低下させます。また、運動能力が高いと、がんのみならず心疾患の死亡リスクも低くなることから、死亡全体のリスクも低くなることが知られています。適度な運動は、健康で長生きするためのキーポイントなのです。

最後に、前立腺がんに限らず多くのがんは増加し、今や2人に1人は生涯でがんにかかると言われていました。患者さんが安心して治療に専念できるよう、また入院生活が快適であるように病棟マネージメントに努めてまいります。



(第一病棟部長)  
橋根 勝義

## 四国がんセンターの理念

患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

### ■基本方針

- ①患者の権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院運営、継続的な意識改革により患者の視点にたったサービスに努めます。

## 看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、**がんと共に生きる人を支える最良のがん看護**を提供します。

### ■基本方針

- ①患者のQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくりまします。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

## 患者の権利とお願い

### ■患者の権利

#### ①良質かつ適切な医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。

#### ②「説明と納得」のもとに医療を選択する権利

病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。

#### ③自己の診療記録に関する情報開示を求める権利

自己の診療記録の情報開示を求めることができます。

#### ④個人情報保護される権利

診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。

#### ⑤セカンドオピニオン制度を利用する権利

主治医より受けた診断、治療方法について他の医療機関の専門家に意見を求めることができます。

### ■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。



# がん治療 最前線

## 乳がん患者さん 化学療法時の脱毛予防

抗がん剤治療を受けておられる患者さん方は、様々な副作用で悩まされることが多いと思われます。以前その筆頭にあがっていたのが吐き気でした。しかし、最近では吐き気止めの薬の進歩により、吐き気で苦しむ患者さんは以前に比べて激減しました。一方、未だに解決していない問題として脱毛があります。特に女性の場合、脱毛による精神的苦痛は大きいと思われ、ある調査によると女性が抗がん剤治療で最も苦痛に感じていることは、脱毛であるとのこと。事実、脱毛を嫌って抗がん剤治療を拒否される乳癌患者さんもおられます。抗がん剤治療による治癒率向上が期待される場面で、脱毛を理由に抗がん剤治療を受けられないのは大変残念なことです。そこで、何とか脱毛を防ぐ方法がないものかと模索していたところ、主にヨーロッパで抗がん剤治療の際に使用されている脱毛予防の器械PAXMANが今年から日本で使用できるようになることを知りました。

そこで、私たちは日本で最初にこの器械を購入しました。それも3台。ただし、この器械の日本での使用許可は抗がん剤治療の際の脱毛予防のものとしてではなく、頭痛の治療目的という(意味不明?)ものであるため、当院では臨床研究として乳癌患者さんを対象に希望者を募って、特に手術前後での抗がん剤治療時に使用開始することにしました。専用のキャップをかぶっていただき、抗がん剤点滴の30分前から頭皮を冷やし、抗がん剤点滴中さらに、終了後90分間頭皮を冷やし続けます。こうすることで、頭皮に流れる血液量を減らすのと、頭皮の毛根細胞の活性を落とすことにより、抗がん剤の毛根細胞に及ぼすダメージを減らせるのが狙いです。ヨーロッパでの使用結果の報告をみても、脱毛予防効果は完全なものではないようで、まだ完成した方法ではないと思われませんが、ある程度の効果は確かにあるようです。ご興味のある乳癌患者さんは乳腺科の医師にご相談下さい。



PAXMAN



がん診断・治療開発部長  
大住 省三

# 真夏の夜の癒しコンサート ～タペのしらべ～

8月3日18時30分～当院2階待合ホールで Quartet Explloce (クアルテット・エクスプローチェ) の4人をお招きしてチェロ演奏会を行いました。真夏の日差しが照りつける暑い1日でしたが、聞き覚えのあるショパンのノクターンやバッハのシャコンヌなど、クラシックファンでなくても聞き入るチェロの重厚な響きが暑さを圧倒するような演奏でした。入院患者さん、病院職員など約100名がチェロの演奏に聞き入りました。

Quartet Explloceの皆様はコンサートツアー中にもかかわらず、当院でのコンサートを快く引き受けてくださいました。4人の皆様はクラシック音楽界では期待の新進気鋭の方々です。知らないということは幸せなのか、怖いことなのか??日本を代表するような素晴らしい方々の集まりでした。あつかましく演奏会をお願いしましたが、今回はとても幸せでした。「良かった。素晴らしい!」「まさかここで、無料で聞けるとは」という声も頂きました。一緒に記念撮影をされていた患者さんもうらやいました。テレビで〇〇交響楽団とか△△フィルハーモニー交響楽団という交響楽団を見ると、4人の顔が拝見できるかもしれません。1時間という短い時間でしたが、本物(皆様よくご存知のアントニオ・ストラディヴァリウスも奏でられていました)に触れることができました。

いかがですか?たまには癒やされるクラシック音楽に包まれるのも気持ちが良いものです。まだ、聞かれたことが無い方は、たまされたと思って一度お聞きになってください。すっかりファンになるかもしれません。

最後になりましたが、快く演奏会をお引き受けくださったQuartet Explloceの4人の皆様と、ご紹介いただいたNPO法人アン・ディムジークの方々に感謝をいたします。

来年も、この演奏会を開くことができ、皆様と一緒に癒しのひと時を過ごすことができれば幸いです。

(地域医療連携係長 宮内 一恵)



2013年末、大学時代から気心の知れた4人で結成され、explode (爆発)、積極的に様々なジャンルのプログラムを取り入れる意味でexplore (探検)、この2つの思いにローチェ (celloをもじった業界用語)を組み合わせてExplloceと命名されたそうです。

## 2015健康実現えひめ in 四国がんセンター

—すべては明日の笑顔のために。受けよう!“がん検診”—

- とき● 平成27年10月18日(日) 9時30分～13時
- ところ● 四国がんセンター 駐車場あり(イベント参加者は無料)

当日8:30外来ホールにて抽選を行います

### マンモグラフィ乳がん無料検診 ● 計45名

■対象：40歳以上で1年以内にマンモグラフィ検診を受けていない方  
 (受診制限について) ●現在、妊娠中の方、授乳中、妊娠の可能性のある方は検診できません。  
 ●現在、乳房疾患で治療中・経過観察中の方及び豊胸手術後・ペースメーカー使用の方は検診できません。

### 肺がん 無料検診 ● 計45名

■対象：20歳以上で1年以内に肺がん検診を受けていない方  
 (受診制限について) ●現在、妊娠中の方、授乳中、妊娠の可能性のある方は検診できません。

### 骨密度測定 無料検診 ● 計20名

みきやん  
も、くるよ!!



【みきやん出演時間】  
10:30頃 / 12:00頃  
愛媛県イメージアップキャラクター みきやん

催し案内 9:30～13:00 (予定)

- ホールイベント(外来ホール)
    - 小野中学校ブラスバンド演奏(10:00～)
    - 愛媛大学の皆さんによる 三味線、木管楽器演奏(11:00～)
  - 暖だんクッキング ●栄養相談
  - フラワーセラピー ●アロマバスソルト
  - 肺機能測定 ●パネル展示
  - こども調剤体験
  - スーパーボールすくい
  - ボランティア「グループふれ愛」による
    - ティーサービス ●書道コーナー ●産直コーナー
- お気軽にご参加下さい。



## 医学物理士

“医学物理士”についてご存知ない方が多いのではないのでしょうか？

医学物理士とは“放射線治療が適切に行われるように医療の現場において放射線物理の専門家として関与する医療職”です。医学物理士は放射線治療に携わることが多く、その具体的な業務内容は、患者さんへの放射線治療を行う前に計画通りの適切な照射が行われることを実測して確認することや治療計画の品質管理業務や放射線治療装置の品質管理・品質保証業務を放射線治療専門技師や品質管理士と連携して行うことなどです。言わば、放射線治療を下支えする縁の下の力持ちのような存在です。私とは言えば診療放射線技師と医学物理士の業務とを平行して行っているため“半人前の医学物理士”と言ったところでしょうか。

日本における医学物理士の数は837名(2015年3月31日現在)です。ちなみに米国ではその数は約5000名です。欧米諸国と比べて日本における医学物理士は人数のみならず認知度も低く、医療の

現場で活躍する機会も少ないのが現状です。しかし、平成26年1月に都道府県がん診療連携拠点病院における放射線治療の診療従事者の一人に医学物理士を配置するように厚生労働省から推奨されました。それを機に大学病院クラスの施設を中心に活躍の場を獲得しています。

ご存知のように四国がんセンターは都道府県がん診療連携拠点病院に指定されています。「うちには医学物理士がいますよ」と胸を張って言えるようになりたいものです。



(副診療放射線技師長 古志 和信)

## 新任医師紹介

## New Physician



婦人科医師  
こまつ まさあき  
**小松 正明**

平成11年広島大学卒、生まれも育ちも広島です。昨年まで米国シカゴ大学で抗癌剤の効果・副作用の個人差に関する遺伝子解析研究を行ってきました。全国有数の当院で、婦人科癌治療スペシャリストを目指して精進しながら、独自の経験を活かして個別化医療を実現していきたいと思いを。

●趣味:テニス



泌尿器科医師  
ほそかわ ただのり  
**細川 忠宣**

4月より泌尿器科に赴任しました細川忠宣と申します。微力ながら地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

●趣味:読書



頭頸科医師  
まつもと じゅんや  
**松本 淳也**

頭頸科に赴任致しました松本淳也と申します。平成20年卒、出身地は兵庫県です。頭頸部癌治療に貢献できるように邁進する所存です。どうぞよろしくお願いたします。

●趣味:スポーツ、音楽鑑賞



## 治験 CHIKEN CORNER

ちけん

### 「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集中の治験等の情報を提供しています。なお、過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー(アドレスを参照)に掲載しています。

(治験主任 峯本 譲)

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-cc.go.jp/chiken/index.html>

### ●現在募集中の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験等情報」です。

(平成27年9月16日現在)

- 乳がん……………10件
- 胃がん……………9件
- 大腸がん……………1件
- 食道がん……………2件
- 膀胱がん……………1件
- 肝細胞がん……………2件
- 肺がん……………17件
- 卵巣がん……………2件
- 胆管・胆道がん……………2件
- 子宮体がん……………1件
- 子宮頸がん……………1件
- 前立腺がん……………2件
- 尿路上皮がん……………2件
- 神経内分泌がん……………1件
- 頭頸部がん……………2件
- その他  
(複数科で実施の治験)……………2件



# お世話になって医ます

大城外科胃腸科  
おもしろ外科こもれび診療所

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、様々なご意見をご紹介します。

## 大城外科胃腸科



在宅医療でお世話になっていきます余戸の大城外科胃腸科を訪問してきました。大城外科胃腸科は辰雄先生のお父様が昭和48年に開業され、平成15年からお父様と一緒に診療されています。現在は、奥様と3人で診療されています。先生は九州大学をご卒業され、外科に入学、がん診療を中心に研鑽を積まれました。テキサス大学内科腫瘍学に留学もされています。

インタビュー時に、すでに資料を準備していただき、それを元に診療所の説明をしてくださいました。資料は第22回愛媛がん性疼痛研究会で発表された資料で、10ページにもおよぶ膨大なものでした。また、患者さんの情報を画像・検査データの経過を含めてA4用紙2枚に整理され、患者さんご家族の説明に使用されていることをお示ししていただきました。目で見てもわかりやすいように工夫されており大変感心いたしました。

患者さんの診断から始まり、治療、緩和ケアまで関われる地域のホスピタルを目指しておられるということです。そのため、あらゆる種類のがん患者さんを外来・在宅で診ておられます。「診断からend-of-lifeまで：継続的なケア体制によりwell-beingを目指す」を座右の銘として診療をされています。

## おもしろ外科こもれび診療所



緩和医療において在宅医療は、切っても切れない関係にあります。患者・家族の様々な希望に対応するためには、在宅緩和ケアは必須で、緩和ケア病棟だけでは完結しません。そこで今回、おもしろ外科こもれび診療所を訪問して、お話を伺って来ました。

### クリニックの特徴を教えてください。

在宅専門ではありませんが、通院できる間は通院してもらいながら、通院が困難になれば、往診に切り替えて、診療を継続するようにしています。砥部町と松前町のクリニックとチームを作っています。疾患は、がんとそれ以外の疾患が半々くらいの割合です。痛みと熱はしっかり取る、しんどい思いはさせないがモットーです。

年間の看取りは20人前後です。患者・家族が直接受診することもあります。小学校の校医もしており、風邪や腹痛が主ですが、子供も診ています。登校拒否や食物アレルギーの相談をうけることもあります。漢方薬を勉強して広く用いて、更年期障害や不安神経などの症状にも対応して治療することもあります。

### 四国がんセンターに希望することはないでしょうか？

抗がん剤治療の時から緩和ケア内科が関わっているが、緩和ケア登録をしたら最後のような印象を持っている患者さんが多いように感じます。

### 連携室に対する要望はありますか？

抗がん剤で治療している段階から患者さんにかかわり継続的な体制をとりたいので、なるべく早い段階で診察を開始したいです。

自宅での看取りを年間30人、訪問診療100件/月は先生のお人柄、努力の賜物であると実感させられました。化学療法の段階から患者さんをお願いいたしますので、これからもよろしく願いいたします。最後に2冊の本(花田先生の緩和ケア、がん患者100の質問)をいただき、ありがとうございました。病院で活用させていただきます。



大城外科胃腸科 大城 辰雄 副院長(右)  
肝・胆・膵内科医長 瀧野 成人(左)

(肝・胆・膵内科医長 瀧野 成人)

## 大城外科胃腸科

- 住 所：〒790-0044 愛媛県松山市余戸東1-11-38
- 電 話：089-971-5131
- 診療科目：外科/胃腸科/内科
- 休 診 日：木曜・土曜午後/日曜・祝祭日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
14:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—	—

がんセンターの中での連携をもっと上手くやってほしいです。また、いろいろな薬剤調整や指導を在宅でも実施しやすい形でお願いしたいです。

大城良雄先生は、もともと外科を専門としていたそうで、「何でも診ますよ」というスタンスでやっているそうです。幅広く、そして必要であれば専門医に紹介するというかかりつ



おもしろ外科こもれび診療所 院長 大城 良雄(左)  
緩和ケア科医長 成本 勝広(右)

け医として活躍されているようです。開業当初は自転車で、最近では車で往診に行くようになったそうですが、まさに地域のかかりつけ医という感じですね。呼ばれても1時間くらいで帰ってこられる事が解り、趣味のゴルフもまた始めたそうです。どうぞお体に気を付けながらますますのご活躍をお祈りします。こちらからもよろしく願いいたします。

(緩和ケア科医長 成本 勝広)

## おもしろ外科こもれび診療所

- 住 所：〒790-0046 愛媛県松山市余戸西1丁目1-6
- 電 話：089-968-8788
- 診療科目：外科/胃腸科/その他生活習慣病など
- 休 診 日：火曜/土曜/祝祭日 (祝日と日曜が重なった場合は診療する)



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	—	○	○	○	—	○	—
14:00~18:00	○	—	○	○	○	—	○	—

# 肝胆膵内科



肝胆膵内科の最近の話題は、薬剤溶出性ビーズを用いた血管塞栓化学療法(TACE)、奏効率が極めて高い抗C型肝炎ウイルス薬、膵癌に対するジェムザール+アブラキサン療

法の新たな導入です。

ビーズTACEは従来のTACEと比較して副作用が軽く、巨大な癌や多発する癌にも安全に行えるようになり、肝がんの治療範囲が広がりました。

また新しい抗ウイルス薬は、インターフェロンを用いず、副作用も軽度です。一般的にがん専門病院の守備範囲ではありませんが、当

院では発癌予防の観点から力を入れています。

そして、ジェムザール+アブラキサン療法は、一足先に承認されたフォリリノックス療法とともに有効性が高い一方、副作用コントロールが難しい治療です。しかし、肝胆膵チームの一員である筒井薬剤師をはじめ、病棟、通院治療室スタッフの協力により、私たちはこれらの治療を安全に導入しています。

最近の傾向は超音波内視鏡ガイド下生検、内視鏡的ステント(胆道、十二指腸)の増加です。経皮的アプローチやバイパス手術に比べ、患者さんの負担は極めて軽くなりました。これらの処置は内視鏡科の西出医師、消化管内科の松本医師と連携して行っています。

私たちのホームグラウンドである8階西病棟は、明るく元気な看護師、好感度抜群の薬剤師をはじめ、たくさんの仲間に恵まれているのが自慢です。これからもチームワークと笑顔で診療にあたっていきますのでよろしくお願いします。

(消化器内科医師 浅木 彰則)

## 「患者の言い分、 医者への言い分」



### 母と娘

あかあさん、だんだんほけてきちゃって…

胃がんで手術してつい最近までお元気だったおばあちゃん、だんだんと認知症が進んできたようです。手術のあと、いつも娘さんといっしょに外来へ通ってきていました。4年たちました。「おばあちゃん、近頃胃の調子はどうですか」「いつもお世話になります。あんばいええですよ」私とお話するときには、普通に思えるのですが、娘さんの言うことには、あとで思い出せないんだそうです。そして、どうやら私を『なにやらお世話になった人らしい』と感じているので愛想を振りまいているのだとか。うむ、娘の観察眼たるや厳しいなあ(\*^\_^\*)

### もうあずけます!

ある日の外来です。娘さん『先生、もう限界です。施設に預けることにしました』『そうですかぁ。世話も大変だものね』『いえ、世話はなんとも思わないんですけど、私のことが娘だとわからないみたいで…』『えっ、いつも一緒にいるのに??』『あなた、誰?って言うようになってしまいました』娘さん、気丈な方でしたが、さすがに涙は隠せません。その日は涙の外来になってしまいました。

母親と娘の関係は、特別ですね。うちのかみさんと娘なんぞをみていると、結婚してからもしょっちゅうメールをやりとりするわ、電話でながーい話をするわ…男から見ると理解できないような関係ですね(^\_^)。それをしょっちゅう目の当たりにしているだけに、この娘さんの、ある意味で悔しい、そしてとても哀しい思いが伝わってきました。

### 私の親も

私の場合は、母親はずいぶんと前に亡くなったので、父親が問題となりました。85才を超えた頃に慢性硬膜下血腫という病気になってしまいました。頭の骨と脳との間に血液が貯まっているいろんな症状が出る病気です。いわゆる独居老人(私の名誉のために言っておきますが、いっしょに住もうと言ってもうんと言わないのです。思い出が詰まった我が家から

離れたくないんでしょうね)でした。ある日、たまたま大阪に住んでいる妹が帰ってきて、いつもの父と違うと感じ、私に電話をかけてきました。すぐ、脳外科へ連れて行き、頭の中に貯まった血を抜く手術をしてもらいました。息子が危ないから止めるというのも聞かず、よく自転車に乗って動き回っていましたので、どこかでころんで頭を打ったのでしょうか。それをきっかけとして、その後もハッキリとしないまま、認知症の症状が進んできたのです。幸い、妹が父のところへ帰ってきて面倒を見てくれることになり、世話を始めました。まあ、いろんなことがおこるものなんです。妹から聞いたエピソードには、笑いあり、涙ありの連続でした。先ほどの娘さんの話を聞いて、父の私への認識はどんなだったのかなあと考えてみるに、たまーにやってきて、何かと口うるさく命令ばかりする自分より若いやつ、くらいだったのでしょうか。実は、何年前か前に、父の胃の手術を私がしているのですが、父の中ではどう理解されていたのでしょうかね。最初の頃は、もちろん覚えていたでしょうが、認知症が進んだ頃には多分忘れていたのだと思います。その父も今は亡く、ありがとうのひと言も言えないままでした。ただただ心残りです。

### 認知症の方が増えています

最近、認知症の話題がしょっちゅうテレビ、紙面を賑わせていますね。何でも、65才以上の高齢者(ごめんなさい、一般的にこう言われているので)のうちで400万人強が認知症だと言われているようです。また、その同数が認知症の前段階にあるんだそうです。

がんセンターの患者さんの中にもいらっしゃいます。看護師さんたち、対応に大忙しです。本人には自覚が無いのですからますます大変!これにはご家族の方々のご協力が欠かせません。安心安全な治療のためにくれぐれもよろしくお願いします。

### 認知症の早期発見

認知症の早期発見のために、一昨日の晩ご飯を思い出せるかどうかと言うことがよく言われます。今、思い出そうとしているのですが…うーん、何だったかなあ…うーん、思い出せないぞ。ん、それよりも昨日の晩ご飯は何だったかな(-\_-)

ところで、皆さんは昨日の晩ご飯を思い出せますか?

(院長 栗田 啓)

ハイ!一句

がんセンター

# 俳句ポスト



あじさいやならんであるく祖母えがお

(女性・17歳)

「あじさいや」で切れている、取り合わせの一句。中七の「ならんであるく」がいいですね。あじさいロードなのでしょう、道端に長く美しく咲き並んでいる様、祖母の早さにあわせてゆっくり歩く優しい作者の様、が見えてきます。あじさいの美しさ、そして孫の優しさに思わず笑顔になる祖母。

入選 オシャレしてヒニョウキカ目指す梅雨晴れ間

(80歳)

カタカナ表記で軽やかさを表現、ヒニョウキカという具体的な名称もなんとユーモラス。

入選 庭にあるアサガオ揺らぐ風は秋

(71歳)

風は秋、という下五がよいですね。朝顔を揺らす風が、もう秋の気配を含んでいる、ことに気づく朝。

入選 ふるさとのかおりなつかしむぎばたけ

(不明)

むぎばたけは、ふるさとの景色そのものなのでしょう。見た目も、香りも。

入選 病窓の風情よきかな青田かな

(不明)

よきかな、青田かな、のリズムも軽やか。病窓からの光景ではありますが、青田の生命力が元気を与えてくれます。

選者:三瀬あき(100年俳句計画いつき組)

入選 風よ吹け開け石鐘へ願いのせ

(女性・67歳)

風よ吹け開け、の叫びが心にぐっときます。掲句には明確な季語はないのですが、「山開き」「登山」が夏の季語、ですから、やはり夏の季節、力強い夏風を感じますね。



## 皆さんの「一句」募集中!!

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。選句は、毎月当コーナーに掲載させていただきます。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



## お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法... ●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

## ご意見箱設置

当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲載させていただきます。



ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員...谷水 正人(委員長)・山本 美二・石井 浩・山下 素弘・井尻 昭・伊藤 真之・玉井 健一・森本 武光・高市 瑞穂(ボランティア)

### 標語の紹介

- 10月 笑顔で対応元気よく 笑顔で対応気持ちよく
- 11月 笑顔で挨拶 笑顔で接遇
- 12月 努めよう 理念を胸に正しい接遇

### 1日平均患者数

	26年度	27年度(4月~8月末)
入院	305.1	313.5
外来	512.5	493.1

### 手術・化学療法・PET-CT件数 ※ ( )内は1日平均件数

	26年度	27年度(4月~8月末)
手術	2,316 (9.5)	950 (9.1)
外来化学療法	9,112 (37.3)	3,766 (36.2)
PET-CT	4,518 (18.5)	1,945 (18.7)



「紙の蝶」 撮影:高市 瑞穂  
ロビーにそっと置かれていました。  
患者さんか、ご家族でしょうか？

### 外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります  
のでご了承ください

### 四国がんセンター概要

〒791-0280  
愛媛県松山市南梅本町甲160  
TEL:089-999-1111  
FAX:089-999-1100  
<http://www.shikoku-cc.go.jp/>

### 環境

「いで湯と城と文学の街」ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

### 診療内容

- |             |            |
|-------------|------------|
| 呼吸器内科       | 乳腺外科       |
| 呼吸器外科       | 婦人科        |
| 消化器内科       | 頭頸科        |
| 消化器外科       | 整形外科       |
| 精神腫瘍科       | 形成外科       |
| 緩和ケア内科      | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来      | リンパ浮腫      |
| 禁煙外来        | 放射線診断科     |
| 泌尿器科        | 放射線治療科     |
| 血液腫瘍内科      | 病理診断科      |
| 感染症・腫瘍内科    | 歯科         |
| セカンドオピニオン   | 麻酔科        |
| 家族性腫瘍(がん)相談 | がんドック      |
| がん患者外来      |            |

病床数 405床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科	月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)
		肝・胆・膵	西出(内)	堀(内)	松本(化)	
	外科	食道・胃	瀧野	浅木	石井	瀧野
		大腸	○栗田	羽藤		野崎
呼吸器	内科	大腸	小林	落合	予小島	★落合
		肝・胆・膵		大田	榎田	
	内科新患	北島	野上	野上	上月	原田
	外科	上月	原田		北島	上野
予禁煙外来	山下	澤田		○上野		
緩和ケア・精神腫瘍科	三好(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(緩和・精神)	成本(緩和)	
泌尿器科	大中(緩和/第4週)					
	○橋根		橋根		○井出	
	○中島		○二宮		○二宮	
血液腫瘍内科	○細川		○細川		○中島	
					予橋根	
感染症・腫瘍内科		吉田		吉田		
婦人科	○濱田			○濱田		
	竹原	大亀	竹原	大亀	白山	
	横山		白山		横山	
	小松		小松		大亀	
乳腺外科	青徳	高橋	高橋	青徳	△清藤	
	高嶋	大住	高嶋	清藤	大住	
			原(化)		原(化)	
形成外科	○河村	○時吉	○河村		○時吉	
	門田	○担当医	門田	○担当医	橋本	
頭頸科 (耳鼻咽喉科)	橋本		松本		松本	
	花川		花川			
整形外科 (骨・軟部腫瘍)	○杉原		○杉原	△杉原	○杉原	
	中田		中田		中田	
放射線	菅原	桐山	清水	菅原	細川	
	片岡/上津	片岡/上津	上津/西川	西川/上津	西川	
	西川	西川	片岡	片岡	★片岡/★上津 ☆上津/☆片岡	
予ストーマ外来		落合	橋根	小島		
予リンパ浮腫外来		○河村			△清藤	
リンパ浮腫ケア外来		リンパ浮腫ケア(自費)			△時吉	
予麻酔/疼痛外来					予首藤	
予セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
家族性腫瘍(がん)相談室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
がん患者外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	
がんドック	酒井	高橋	酒井	高橋	酒井	
内視鏡生理検査		治療内視鏡	梶原	堀	松本	
			治療内視鏡	西出	堀	
			治療内視鏡		西出	

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当  
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

### TRAFIC ACCESS 交通のご案内



#### 車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分  
■JR松山駅から車で 約30分  
■松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道  
■松山インターから車で 約20分  
■川内インターから車で 約20分

#### 電車・バスでお越しの場合

